

道東自動車道(夕張IC～占冠IC)開通1年後の利用状況について ※開通後約1年間[平成23年10月29日～平成24年10月21日]

- ・ 開通後1年間で平均約5,800台／日が利用
- ・ 最も利用の多い8月は平均約9,600台／日が利用

■道東道 夕張IC～占冠IC間 約1年間の交通量の推移



道東自動車道(夕張IC～占冠IC)開通1年後の利用状況について

- ・平成7年の開通以降、区間交通量は段階的に増加（約7倍）
- ・平成23年の開通後、トマムIC～十勝清水IC間の区間交通量は約1.5倍

道東道 各開通後1年間の区間交通量

※交通量は概数値

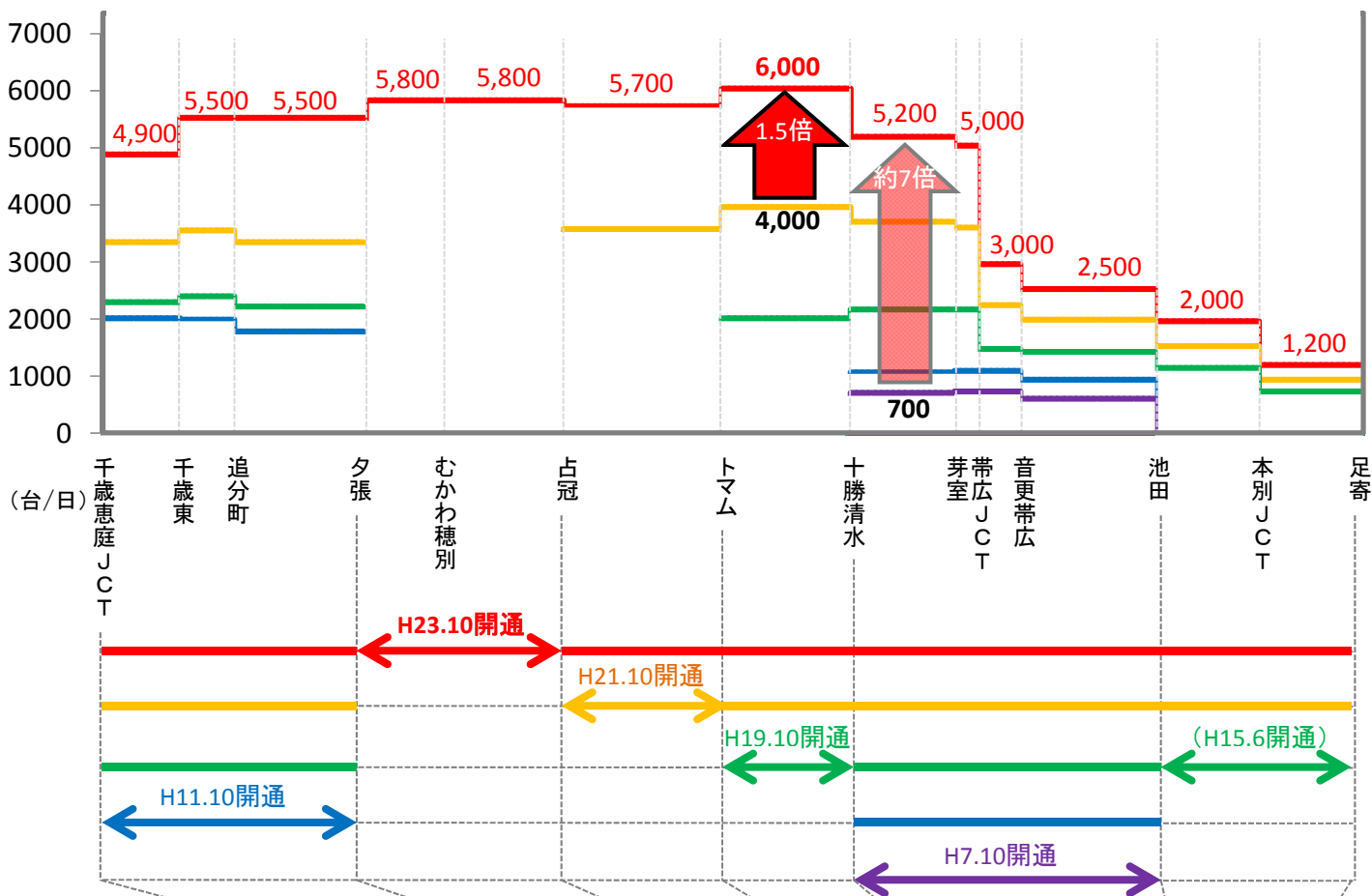
■ 夕張～占冠 (H23.10.29～H24.10.21まで)

■ トマム～十勝清水 (H19.11.1～H20.10.31まで)

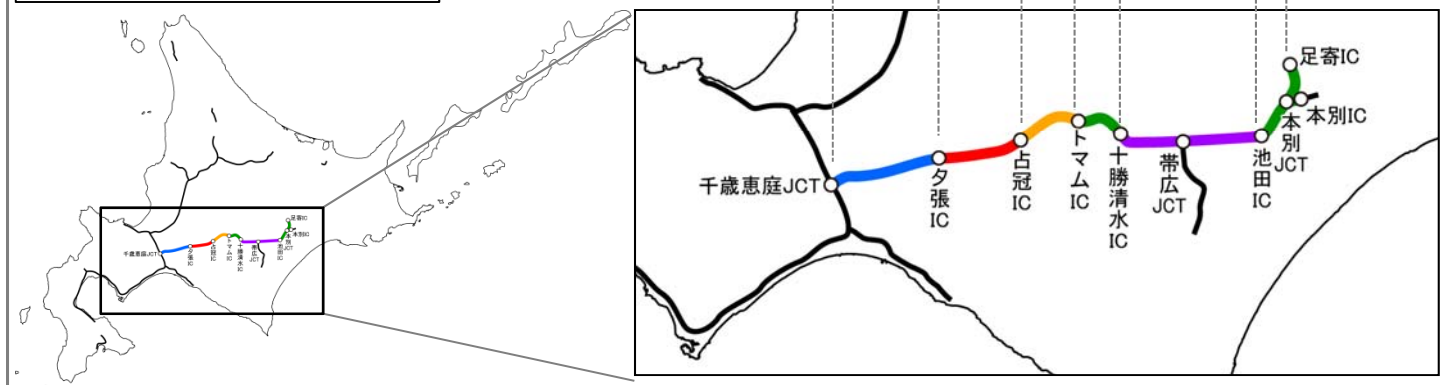
■ 占冠～トマム (無料化社会実験期間を除くH21.11.1～H23.10.28まで)

■ 千歳恵庭JCT～夕張 (H11.11.1～H12.10.31まで)

■ 十勝清水～池田 (H7.11.1～H8.10.31まで)



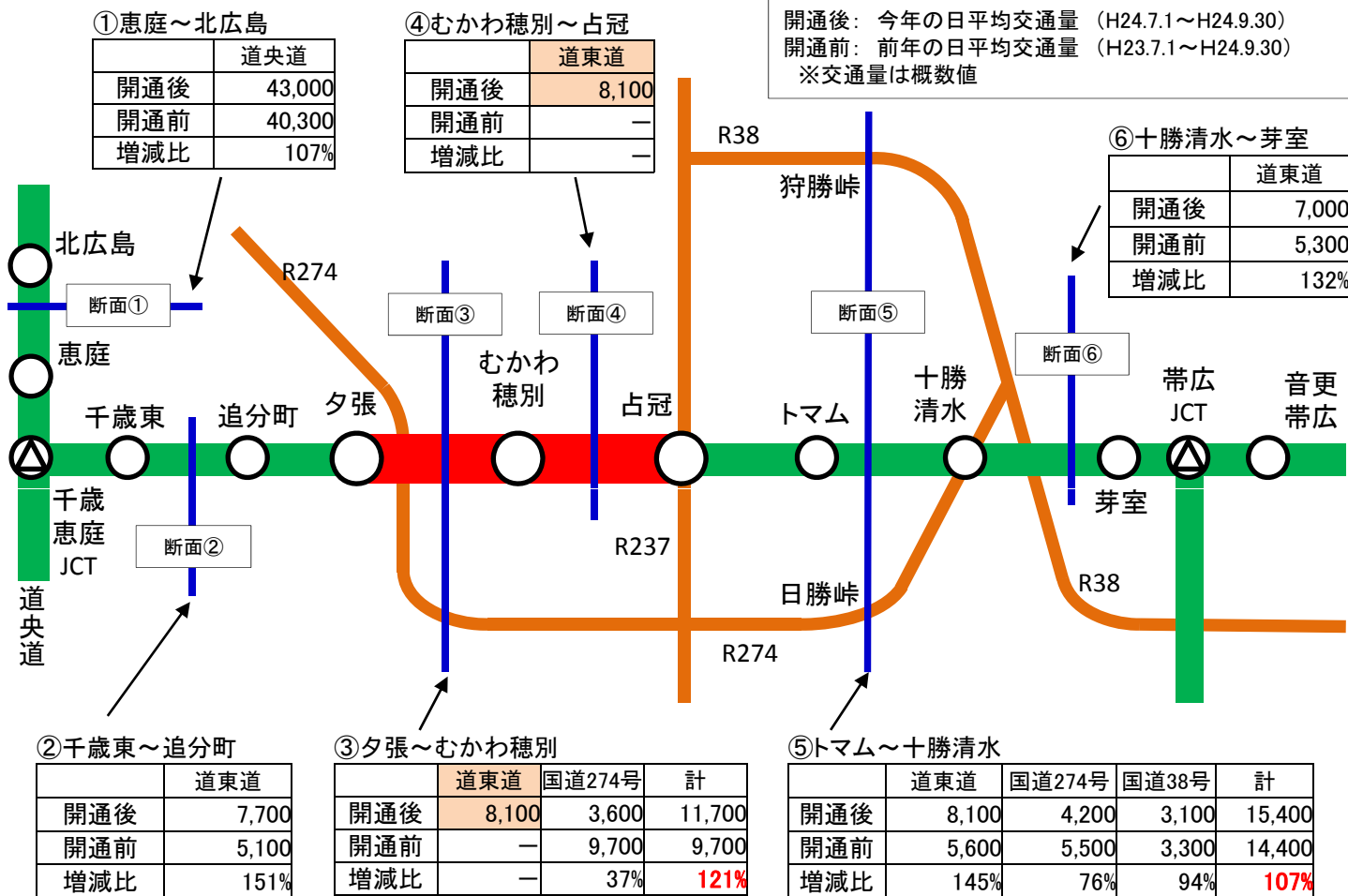
道東自動車道 位置図



道東自動車道(夕張IC～占冠IC)開通1年後の利用状況について ※夏期3ヵ月[平成24年7月1日～平成24年9月30日]

- ・ 夕張IC～むかわ穂別IC間の道東道と一般国道の合計交通量は121%に増加(夏期3ヵ月間)
- ・ うち、7割程度が道東道を利用

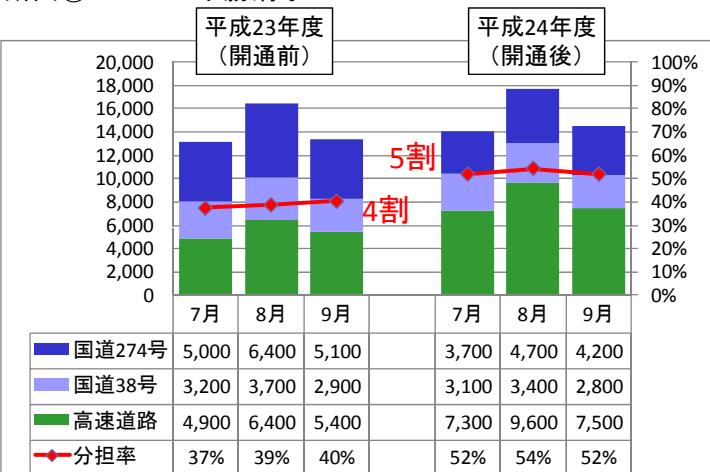
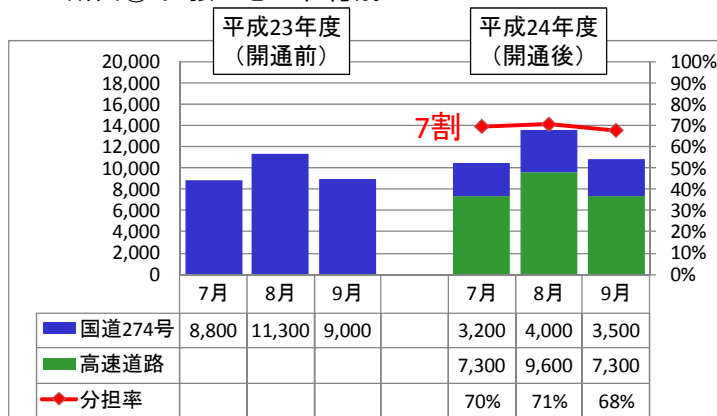
交通状況(台/日)



断面③、⑤の月別交通状況・分担率

断面③ 夕張～むかわ穂別

断面⑤ トマム～十勝清水



※分担率: 各断面交通における高速道路を走行する交通の割合

道東自動車道(夕張IC～占冠IC)

参考

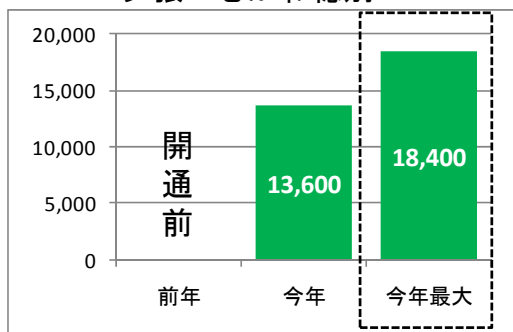
交通量ベスト3 ～ お盆期間の利用交通動向等について

- ・特に利用の多いお盆期間中、最も交通量が多い区間である
トマム～十勝清水間で最大約19,200台／日が利用

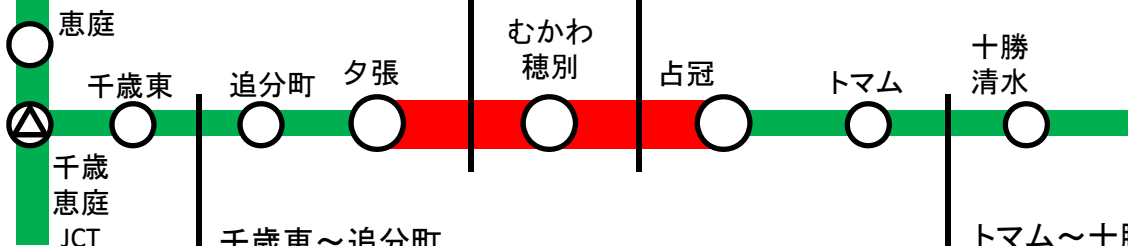
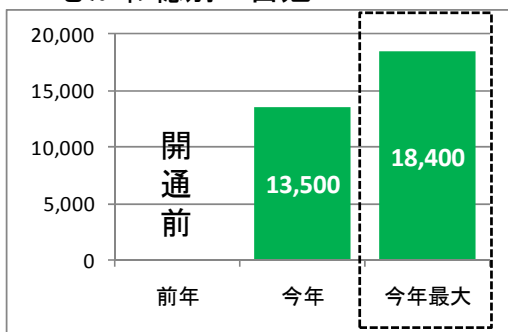
交通状況 (台/日)

前年(開通前):平成23年8月10日～18日までの9日間の日平均交通量
今年(開通後):平成24年8月8日～8月16日までの9日間の日平均交通量
【今年最大(お盆期間中)】
千歳東～追分町8/15、夕張～占冠8/12、トマム～十勝清水8/14
※交通量はトラフィックカウンターによる概数値

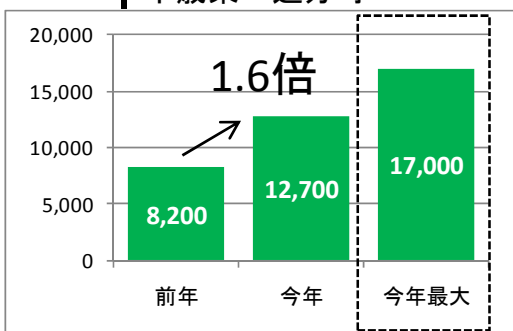
夕張～むかわ穂別



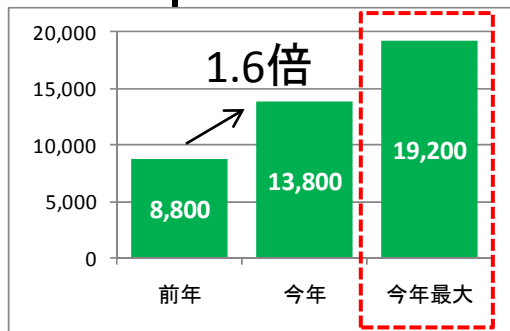
むかわ穂別～占冠



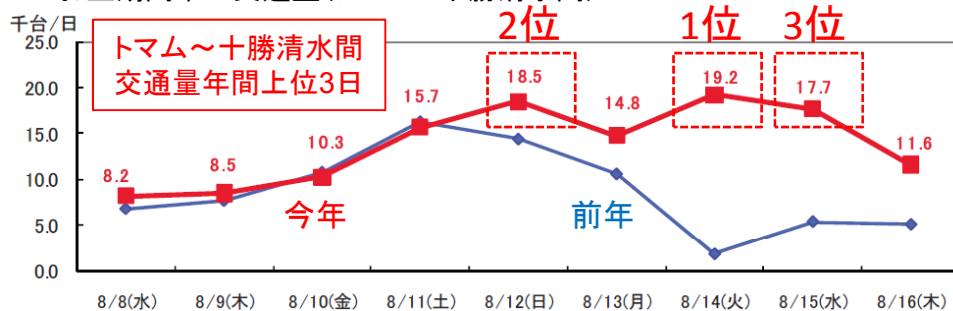
千歳東～追分町



トマム～十勝清水



▼お盆期間中の交通量(トマム～十勝清水間)



(参考) 〇 休日

	水	木	金	土	日	月	火	水	木
H24 年	8/8	8/9	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15	8/16
H23 年	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	8/18

道東自動車道(夕張IC～占冠IC) 開通後1年間の主な交通動向等について

参考

○年末年始における交通状況

開通後:平成23年12月22日(木)～平成24年1月4日(水):14日間
開通前:平成21年12月22日(火)～平成22年1月4日(月):14日間

(台/日)

道路名	区間	開通後 (1)	開通前 (2)	比率 (1)/(2)	備考
道東自動車道	夕張～むかわ穂別	5,100	—	—	新規開通区間
R274		1,800	5,000	36%	
合計		6,900	5,000	138%	
道東自動車道	むかわ穂別～占冠	5,200	—	—	新規開通区間
R274		—	—	—	計測機器なし
合計		5,200	0	—	
道東自動車道	トマム～十勝清水	5,500	3,300	167%	
R274		2,400	3,200	75%	
R38		2,200	2,400	92%	
合計		10,100	8,900	113%	道央～道東断面

注)交通量はトラフィックカウンター[道路に備え付けられている交通量の自動計測装置]による概数値

○ゴールデンウィーク期間における交通状況

開通後:平成24年4月27日(金)～平成24年5月6日(日):10日間
開通前:平成22年4月27日(火)～平成22年5月6日(木):10日間

(台/日)

道路名	区間	開通後 (1)	開通前 (2)	比率 (1)/(2)	備考
道東自動車道	夕張～むかわ穂別	11,100	—	—	新規開通区間
R274		4,400	12,400	35%	
合計		15,500	12,400	125%	
道東自動車道	むかわ穂別～占冠	11,200	—	—	新規開通区間
R274		—	—	—	計測機器なし
合計		11,200	0	—	
道東自動車道	トマム～十勝清水	11,400	7,600	150%	
R274		4,900	6,500	75%	
R38		3,900	4,200	93%	
合計		20,200	18,300	110%	道央～道東断面

注)交通量はトラフィックカウンター[道路に備え付けられている交通量の自動計測装置]による概数値

○お盆期間における交通状況

開通後:平成24年8月8日(水)～平成24年8月16日(木):9日間
開通前:平成23年8月10日(水)～平成23年8月18日(木):9日間

(台/日)

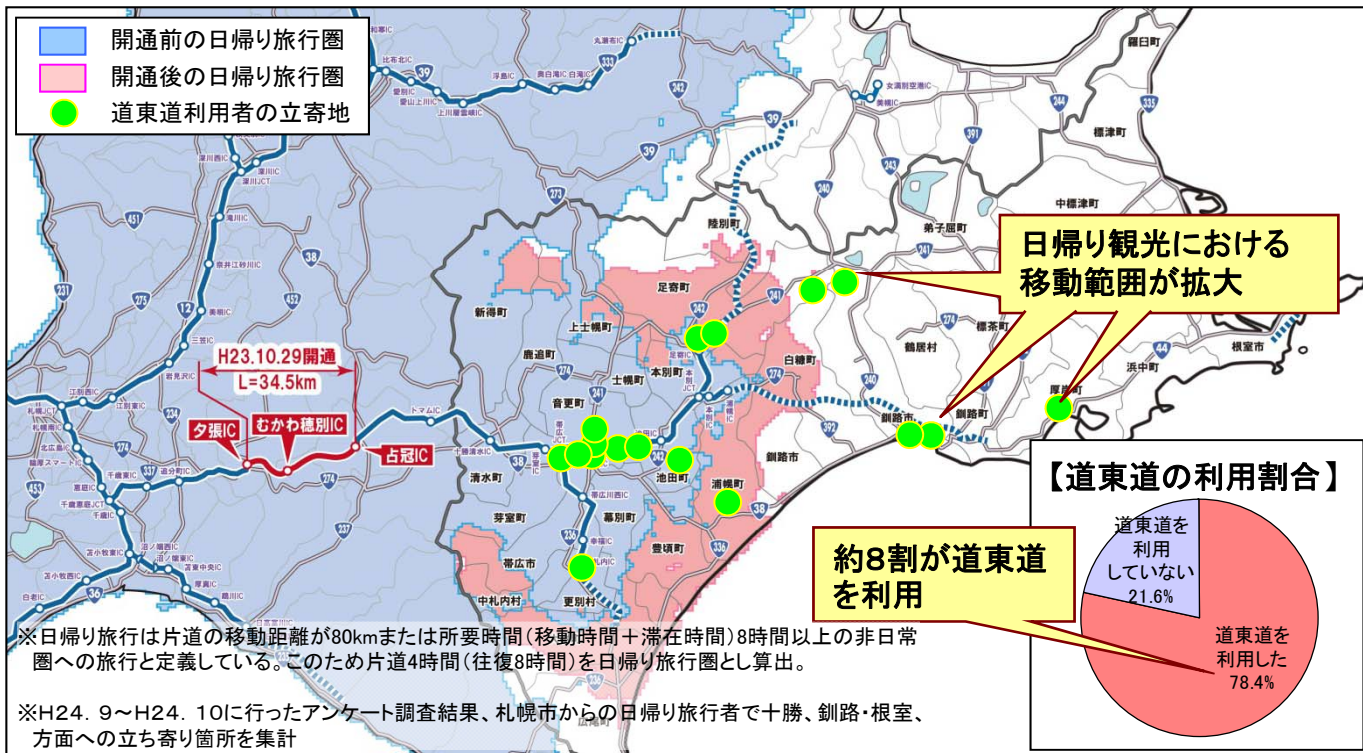
道路名	区間	開通後 (1)	開通前 (2)	比率 (1)/(2)	備考
道東自動車道	夕張～むかわ穂別	13,600	—	—	新規開通区間
R274		5,600	15,700	36%	
合計		19,200	15,700	122%	
道東自動車道	むかわ穂別～占冠	13,500	—	—	新規開通区間
R274		—	—	—	計測機器なし
合計		13,500	0	—	
道東自動車道	トマム～十勝清水	13,800	8,800	157%	
R274		6,100	9,300	66%	
R38		4,600	5,200	88%	
合計		24,500	23,300	105%	道央～道東断面

注)交通量はトラフィックカウンター[道路に備え付けられている交通量の自動計測装置]による概数値

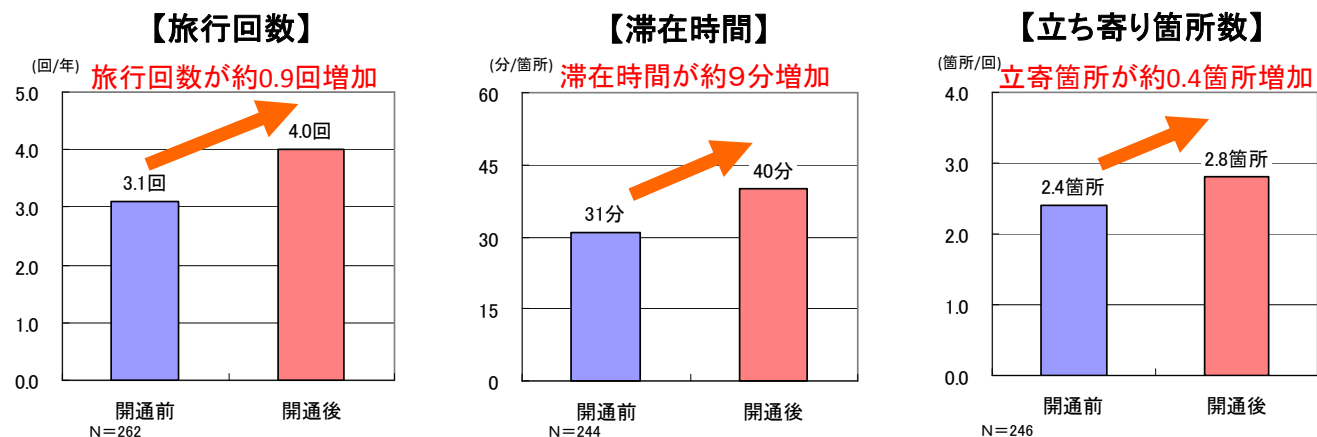
【圏域間交流①】道東道利用による日帰り観光行動の変化

- 札幌～帯広間の大幅な移動時間短縮により、日帰り旅行圏の拡大、滞在時間の延長、立ち寄り箇所数の増加などの行動変化を確認

■札幌市からの道東方面への日帰り旅行



■道東道利用者の立ち寄り箇所数・滞在時間・旅行回数の変化



資料: アンケート調査結果(北海道開発局調べ)

実施箇所: 道の駅白糠恋問、十勝川温泉、柳月スイートピアガーデン、池田ワイン城、十勝エコロジーパーク、道の駅あしよる銀河ホール21、オンネトー、帯広競馬場、道の駅なかさつない、帯広動物園、道の駅うらほろ

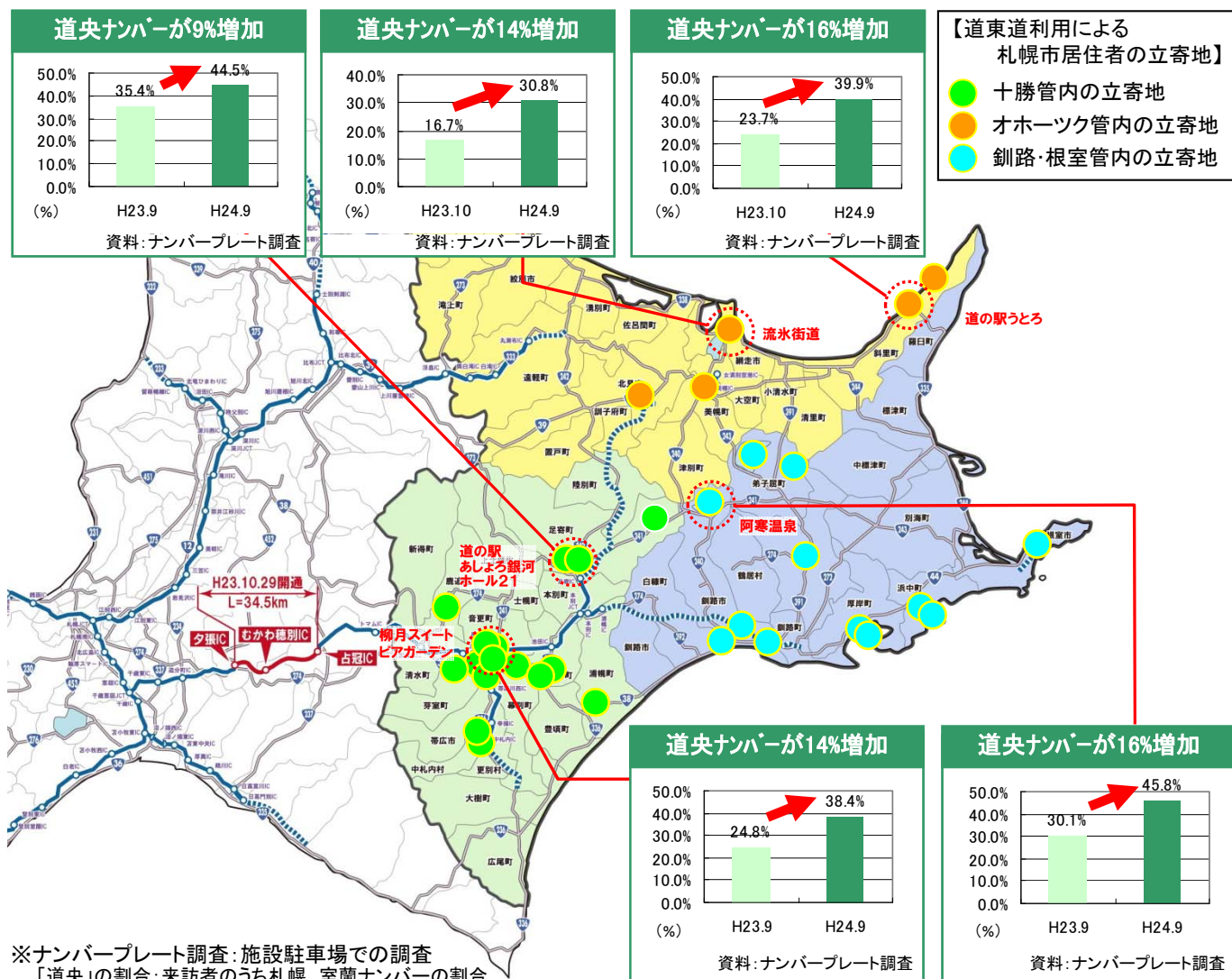
■地域の声＜十勝川温泉旅館協同組合＞

- 札幌や室蘭の道央方面ナンバーの車が増えました。徐々に道央方面からの日帰り客が増えています。
- 移動時間に余裕ができたので、釧路方面の人が札幌方面からの帰りに寄るなど変化がみられます。
- 新千歳空港からのレンタカーが増え、道外からのお客さんも増えています。
- 今後、釧路や北見方面もつながっていけば、更に効果が発揮されると思います。

【圏域間交流②】道東道利用による広域交流の促進

- ・道東道の開通により、道央圏とオホーツク圏・釧路圏との交流が促進

■道央―道東間の立ち寄り動向



圏域	施設名	調査日		時間
帯広	柳月スイートピアガーデン	H23/9/24(土)	H24/9/16(日)	9:00~15:00
帯広	道の駅 あしよる銀河ホール21	H23/9/24(土)	H24/9/16(日)	9:00~15:00
釧路	阿寒湖温泉周辺駐車場	H23/9/23(金)	H24/9/16(日)	9:00~17:00
網走	流水街道	H23/10/29(土)	H24/9/16(日)	8:00~15:00
網走	道の駅うしろ	H23/10/29(土)	H24/9/16(日)	8:00~15:00

資料: アンケート調査結果(北海道開発局調べ)
実施箇所: 道の駅白糠恋問、十勝川温泉、柳月スイートピアガーデン、池田ワイン城、十勝エコロジーパーク、道の駅あしよる銀河ホール21、オンネトー、帯広競馬場、道の駅なかさつない、帯広動物園、道の駅うしろ
※札幌市居住者の立寄地のうち十勝、オホーツク、釧路・根室管内のみを集計

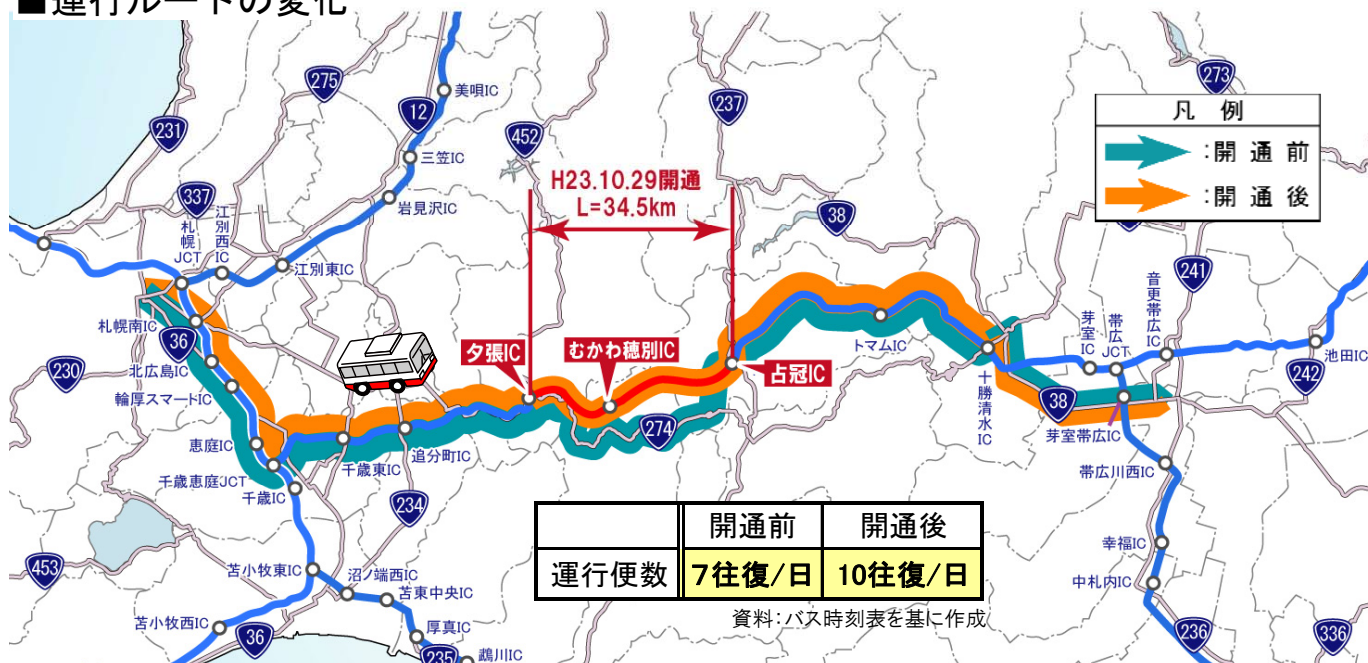
■地域の声<十勝観光協会>

- ・道東道開通により地域と人が繋がり、北海道ガーデン街道やチーズ&ワイン街道などのイベントに多くのお客様が訪れており、周辺の宿泊施設等の稼働率もアップしています。
- ・高速道路の延伸により、十勝が単に「道東エリア」という位置づけから、オホーツクや釧路方面、道央・道北を結ぶ「道東のハブ地域」へと変身し、ひいては北海道全体のボトムアップにつながるのでは、と感じています。

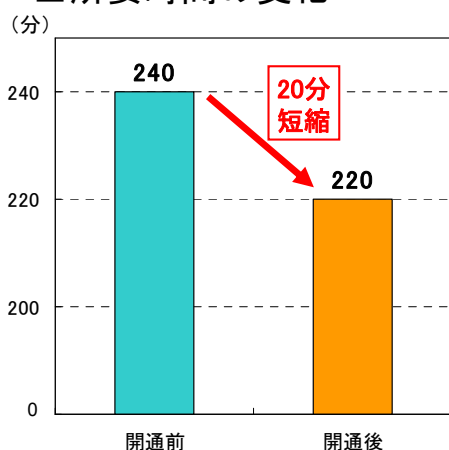
【圏域間交流③】都市間バスの利便性向上による圏域間交流の促進

- ・ 道東道の開通により札幌～帯広間の都市間バスの運行時間が20分短縮
- ・ 1日3往復増便により乗降客数が大きく増加し、圏域間の交流が促進

■運行ルートの変化

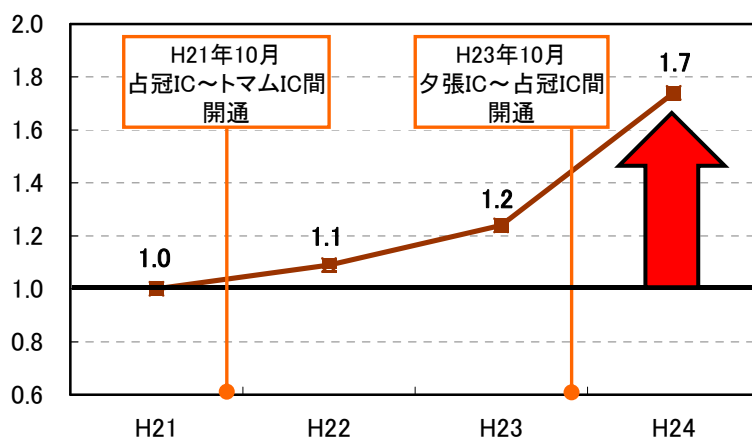


■所要時間の変化



資料：バス時刻表を基に作成

■都市間バス（札幌～帯広間）乗降客の伸び率



※H21を1.0とした各年の伸び率。

各年は、上半期(4月～9月)の合計値の比較。

※札幌～帯広間を運行する都市間バス(ポテトライナー)の乗降客数

資料：バス運行会社

■地域の声＜バス会社＞

- ・ 道東道の延伸に伴いこれまでも利用者サービスの向上を図って参りましたが、昨年秋の開通を機に時刻表の見直し、運行便数の増便など大幅な改善を行いました。この結果、乗降客数が大幅に増加しました。

【環境】道東道利用による環境負荷の改善

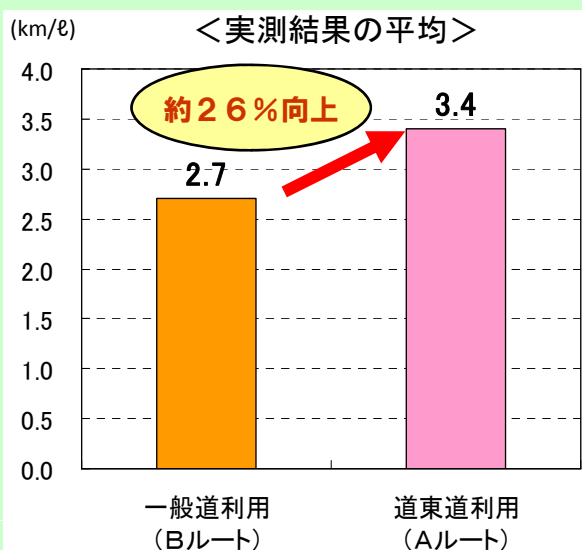
- ・ 道東道の開通により一般国道に比べ勾配が緩やかで走行距離も短く、一定の速度で走行できるため燃費が向上
- ・ 道東道利用で大型トラックの燃費が約26%改善し、燃料消費量の減少に伴いCO₂削減に貢献

■燃費計測調査の比較ルート



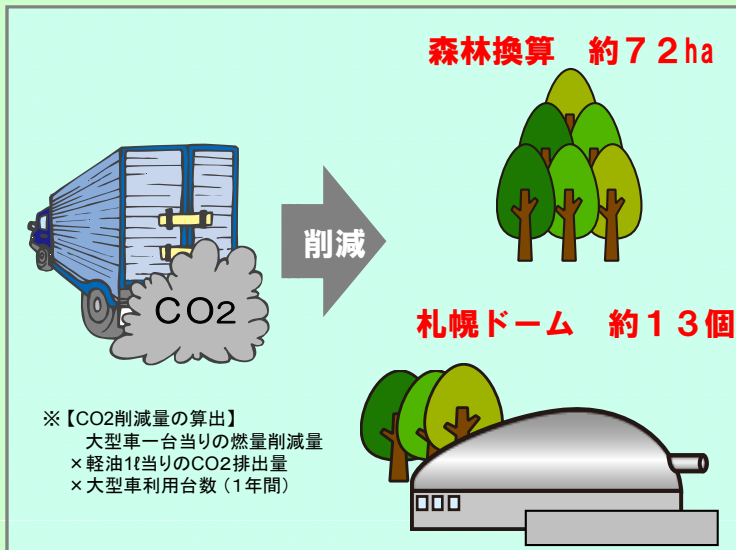
■燃費計測調査結果

【燃費向上の状況】



資料: NEXCO東日本調べ

【年間のCO₂削減量】



資料: NEXCO東日本試算

■地域の声＜運送会社＞

- ・ 環境面では、輸送業者に対しても努力が求められていると認識しており、燃料代も高騰していますので、燃費の改善は非常に重要であると考えています。

【観光】日帰りバスツアーの変化

- ・道東方面の日帰りバスツアーでは、滞在時間延長や移動時間短縮などツアーの魅力が向上

■道央⇒道東間の日帰りバスツアーの例



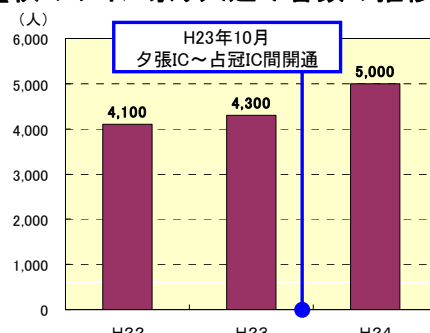
資料:旅行代理店パンフレットより

【池田町ワイン祭りツアー(日帰り)のタイムスケジュールの変化の例】

	7:00札幌発				19:00札幌着
開通前 (昨年)	移動 約4時間 (休憩含む)	池田町ワイン まつり会場 約3時間10分		移動 約4時間40分 (休憩含む)	
	7:45札幌発	移動時間短縮	滞在時間延長	移動時間短縮	18:00札幌着
開通後 (今年)	移動 約3時間30分 (休憩含む)	池田町ワイン まつり会場 約3時間30分		移動 約3時間10分 (休憩含む)	

資料：旅行代理店

【秋のワイン祭り入込み客数の推移】



資料:池田町産業振興課

■地域の声＜旅行代理店＞

- ・札幌発のツアーは、道東道開通後、移動において安全で定時性の高い高速道路を利用し、スケジュールに沿ったツアーが可能となっています。また、例年より立ち寄り先で滞在時間を長くとることができるようになったためツアーの魅力が向上しています。
- ・帯広発のツアーでは、道東道開通をきっかけにした札幌ドーム観戦ツアーや千歳・北広島のアウトレットモールへの買い物ツアー等の新規ツアーを企画し、多数の方にご利用いただいております。

＜真鍋庭園苗畑（帯広市）＞

- ・十勝の観光地に、札幌ナンバーの自動車だけではなく室蘭や函館ナンバーも増え、新千歳空港からのレンタカーやツアーバスも増えました。
- ・新たに中部方面や関西方面からのツアーバスが増えています。

【物流】輸送時間短縮による効率化

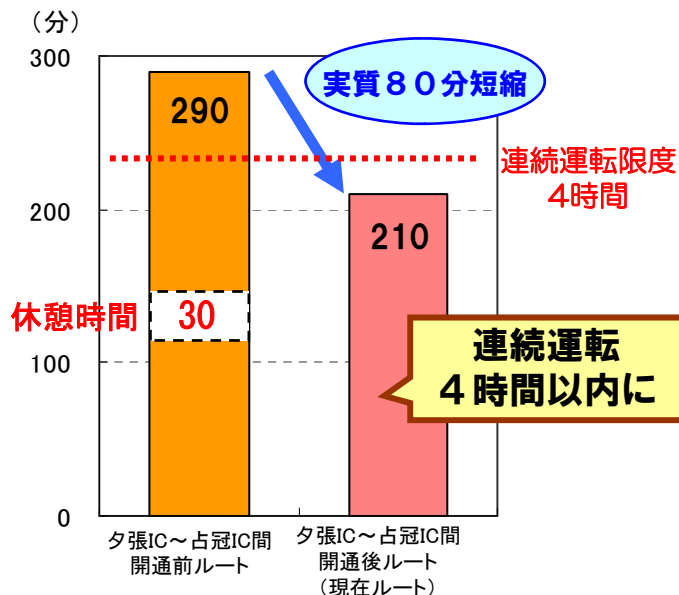
- ・ 道東道の開通により、札幌～帯広間がドライバーの連続運転の制限時間である4時間以内で到着可能に
- ・ 輸送時間の短縮により、ドライバーの負担が軽減し安全性が向上するとともに物流が効率化

■ドライバーの休憩取得の状況



■休憩時間を考慮した所要時間 (札幌～帯広)

※4時間以上の連続運転には、計30分以上の休憩等を確保することが必要。
(厚生労働省労働基準局)



資料：H22道路交通センサスにて算定

■地域の声＜運送会社＞

- ・ ドライバーは、4時間を越える連続運転は労働基準法で禁止されています。道東道開通前は、帯広まで4時間以内の到着は不可能なため、途中で必ず休憩を取るよう指導していました。しかし、開通後は当社から帯広市内の物流拠点まで4時間を切ることができるようになったため、休憩を取らずに運ぶことができるようになり、目的地でまとまった休憩が取れるようになりました。また、その分、開通前より短時間で帯広に到着できるようになりました。

【くらし・医療】血液輸送の速達性確保に貢献

- ・血液や血液製剤は、札幌市にある北海道赤十字血液センターから帯広出張所へ道東道を利用し毎日搬送
- ・夕張～占冠間の開通後は、さらに速達性・走行性が確保され、安定的な血液輸送が可能に

■血液・血液製剤の輸送状況



※着色は、帯広出張所の血液供給エリア

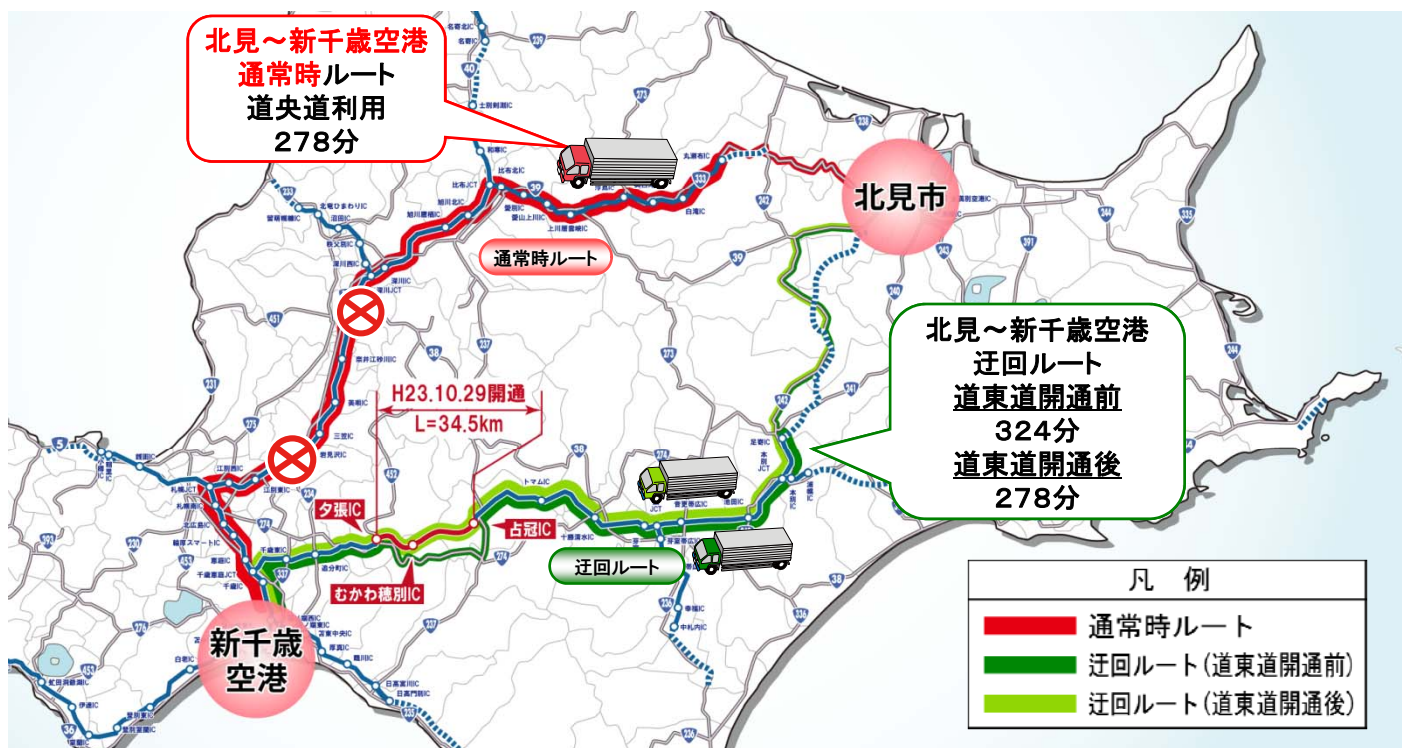
■地域の声＜北海道釧路赤十字センター 帯広出張所＞

- ・ 近年、心疾患や循環器系の緊急オペが帯広で多く、輸血のための血液供給量は増加している。
- ・ 大量出血や大きな事故などで、一時的に大量の血液が必要となる際には、札幌から緊急輸送車両にて運ばれることもある。
- ・ 緊急の場合は、1分1秒でも早く届けば、患者にも早く処置されるため、30分短縮になった効果は非常に大きいと感じている。

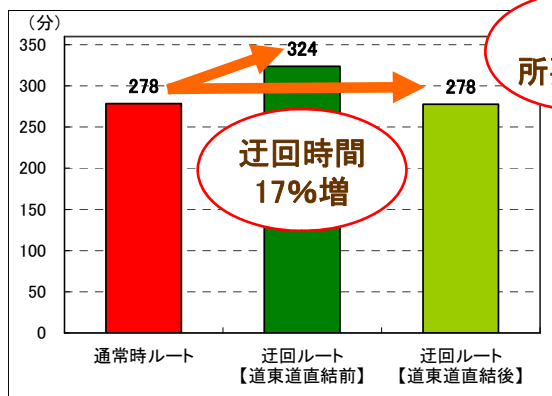
【安全安心】リダンダンシーの確保

- ・平成24年2月の空知・石狩地域を襲った豪雪では、道央自動車道で通行止めが発生
- ・道東圏～道央圏の物流ルートでは、道東道が代替ルートとして機能

■北見圏～道央圏間の物流における通常時及び迂回ルートの状況



■通常時及び迂回ルートの所要時間



資料：H22道路交通センサス

■地域の声＜物流事業者＞

- ・新千歳空港間の輸送において、道東道開通後は、道東道を迂回しても所要時間が変わらなくなりました。そのため、道央道が通行止めとなった場合でも、道東道を利用するルートに変更することで通常のスケジュール通り配送できました。
- ・また、新千歳空港に向かう際も道東道を利用するルートに変更し、通常通り予定した飛行機に間に合うことができました。

【ルート別距離】

通常ルート（北見～新千歳空港・道央道利用）：高規格幹線道路 約260km + 一般国道 約80km 計 約340km
迂回ルート（北見～新千歳空港・道東道利用）：道東道開通前 高規格幹線道路 約175km + 一般国道 約175km 計 約350km
道東道開通後 高規格幹線道路 約210km + 一般国道 約110km 計 約320km